記者発表資料

平成２６年５月２６日
ＥＥ東北実行委員会

建設技術公開「EE東北’１４」開催のお知らせ

～活かそう新技術 復興から発展へ 782技術が出展～

建設事業に係わる**新技術、新工法が一堂に集結する建設技術公開「EE東北’14」**を開催します。入場は無料です。

ＥＥ東北’１４は、**出展者数（298）及び出展技術数（782）ともに過去最多**となります。

今回は、復旧・復興に資する技術や、昨今の社会資本の老朽化対策を反映して維持管理・予防保全に関する技術が多く展示されます。また、技術を分かりやすく説明するため出展者自ら説明する新技術プレゼンテーションを行います。

○開催日時：平成２６年６月４日（水）１０時～１６時３０分
６月５日（木） ９時３０分～１６時

○開催場所：「夢メッセみやぎ」展示場 （仙台市宮城野区港３－１－７）
入場は無料です。また、当日、「夢メッセみやぎ」と「多賀城駅（ＪＲ仙石線）」を連絡する無料シャトルバスを運行します。

○実施概要：①開会式 **６月４日（水）１０時**より **屋内展示場入口**にて行います。
②新技術展示会 ２９８社による７８２技術の展示
③新技術プレゼンテーション

○見どころ： 復興の加速化を後押しする新技術や、構造物の耐久性向上、長寿命化、維持管理費の低減など維持管理・更新をキーワードとした新技術等が展示されます。

（発表記者会）宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、塩釜市役所記者クラブ

【お問い合わせ先】 ＥＥ東北実行委員会事務局（東北地方整備局 東北技術事務所内）
東北技術事務所 副所長 狩野（かりの） 武志（たけし）
東北技術事務所 施工調査･技術活用課長 下田（しもだ） 一朗（いちろう）
住所：多賀城市桜木３丁目６－１ 電話０２２－３６５－８０４７
ＥＥ東北公式サイト：http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/eetohoku/ee14/

建設技術公開「ＥＥ（イーイー）東北’１４（イチヨン）」の概要

○ キャッチコピー　：　活かそう新技術 復興から発展へ

○　目　　的

建設事業に係わる新技術、新工法、新材料、その他時代のニーズに対応して開発された技術を一堂に会し公開することで、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と、良質な社会資本の整備を通じて社会に寄与することを目的として、開催します。

※ ＥＥとは英語の Engineering　Exhibition（エンジニアリング　エキシビション）の略で、新技術を広く公開するという意味が込められています。平成２年から開催されており、今回で２４回目の実施となります。

○　主　　催

ＥＥ東北実行委員会（委員長：東北地方整備局　企画部長）

［構成団体名］

一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北コンクリート製品協会、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、東北建設業協会連合会、一般社団法人東北地域づくり協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支店

○　後　　援

公益社団法人土木学会東北支部、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人先端建設技術センター、河北新報社、日刊建設工業新聞社東北支社、株式会社日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社、株式会社建設新聞社、株式会社日本建設新聞社

○　実施内容

内　容	開催月日		開催場所
開　会　式	平成２６年６月４日（水） ・開会宣言　ＥＥ東北実行委員長 ・あいさつ　東北地方整備局長 ・来賓祝辞　国土交通省来賓 ・テープカット	10:00～	《夢メッセみやぎ》 仙台市宮城野区港3-1-7 ・屋内展示場 ・屋外展示場 （屋外展示場の一部は、夢メッセみやぎ西館（旧アクセル）駐車場を使用）
新技術展示会 ２９８社 ７８２技術	平成２６年６月４日（水）	10:00～16:30	
	平成２６年６月５日（木）	9:30～16:00	
新技術プレゼンテーション	平成２６年６月４日（水）	11:00～16:15	《夢メッセみやぎ》 屋内展示場特設ステージ
	平成２６年６月５日（木）	9:45～15:30	

○　技術分野別出展技術数

１．復旧・復興	２．建設段階	３．維持管理・予防保全	点検診断・モニタリング等	４.建設副産物・リサイクル等	５．防災・安全等	６．その他共通
195 (175)	145 (127)	232 (151)	－ (40)	15 (11)	152 (135)	43 (43)
782 (682)						

※（　）内はＥＥ’１３の出展技術数

※ＥＥ東北’１３の出展実態を見ると「維持管理の技術分野」にも、「点検診断・モニタリング等の技術分野」に区分される技術が増えてきていることから、この２つの分野を、ＥＥ東北’１４では統合し、「維持管理・予防保全の技術分野」としている。

○　プレゼンテーションテーマ別発表数

ＥＥ東北’１４	復旧・復興	建設段階	維持管理・予防保全	防災・安全
官　　学	1	1	2 (2)	(1)
構成団体	2 (7)	3 (2)	11 (3)	(4)
一　　般	6 (6)	5 (4)	5 (6)	4 (3)
発表枠	9 (13)	9 (6)	18 (11)	4 (8)

※（　）内はＥＥ’１３の発表数

○　ＥＥ東北の経緯（過去１０カ年）

回数	名称	開催日	開催場所	出展者（社）	出展技術	来場者（人）
15	ＥＥ東北’04	H16.5.25～5.27	仙台市民会館・東北技術事務所	156	347	6,520
16	ＥＥ東北’05	H17.5.24～5.26	仙台市青年文化センター・東北技術事務所	164	356	6,800
17	ＥＥ東北’06	H18.5.23～5.25	仙台市青年文化センター・東北技術事務所	152	336	6,000
18	ＥＥ東北’07	H19.5.30～5.31	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	147	315	6,800
19	ＥＥ東北’08	H20.6.4～6.5	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	159	343	6,500
20	ＥＥ東北’09	H21.6.3～6.4	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	158	340	6,200
21	ＥＥ東北’10	H22.6.2～6.3	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	141	323	6,000
－	ＥＥ東北’11	H23.6.1～6.2	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	171	中止	
22	ＥＥ東北’12	H24.10.24～10.25	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	295	661	9,760
23	ＥＥ東北’13	H25.6.5～6.6	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	290	682	12,000

※ＥＥ東北は平成２年から開催、ＥＥ東北’１４は２４回目となる（ＥＥ東北’１１は中止）。

○　継続学習制度（ＣＰＤＳ）対象プログラムの認定

目的：ＥＥ東北は建設事業に係わる新技術を公開し、その普及及び技術開発を促進することを目的としています。これはＣＰＤＳにおける技術者の自己研鑽の目的と一致するため、ＥＥ東北をＣＰＤＳ対象プログラムに登録し、技術者の資質向上を図る場として位置づけるものです。

適用：（一社）全国土木施工管理技士連合会　継続学習制度（ＣＰＤＳ）ガイドライン

認定プログラム内容：

登録番号　２４９９２６（６月４日）、２４９９２７（６月５日）

プログラム名称　建設技術公開「ＥＥ東北’１４」

※開催１日あたり１プログラムとして登録（２日間では２プログラム）

○　「ＥＥ東北’１４」開催におけるポイント

◆ キャッチコピーは、**活かそう新技術 復興から発展へ**。

◆ **出展者数は、過去最多の298社**

◆ **出展技術数は、過去最多の782技術**（うちＮＥＴＩＳ登録技術３６７技術）

◆ ＥＥ東北’１３における「維持管理の技術分野」と「点検診断・モニタリング等の技術分野」を、ＥＥ東北’１４では統合して「維持管理・予防保全の技術分野」とし、**六つの分野ごとにブースを配置**しています。

◆ 六つの技術分野ごとに的を絞った見学もできるように、ガイドブック、ガイドマップの配布や、社名板の色分け、ブース配置も工夫しています。

◆ 出展ブースでは、新技術に関する映像紹介やパネル展示のほか、**実際の重機、製品などの実物、模型、素材を交えて、建設技術を紹介します。**

◆ 復興の加速化を後押しする建設技術や土木構造物の品質向上に資する建設技術など、**復旧・復興に関する技術が、195技術**展示されます（前回出展技術数　復旧・復興に関する技術分野１７５技術）。

　復興の加速化を後押しする建設技術の例として、少ない技能労働者で施工が可能なコンクリート二次製品を活用した技術。

◆ 社会資本の維持管理・更新に係る問題が顕在化している昨今の状況を反映し、インフラの老朽化対策として**維持補修技術や予防保全の技術分野が最も多く展示**されます。ロボットを活用した点検技術や非破壊で行うインフラ点検技術など、**232技術**展示されます（前回出展技術数　維持管理に関する技術分野１５１、点検診断・モニタリング等に関する技術分野４０技術）。

　ロボットを活用した点検技術の例として、遠隔操作で水道管等の管路内を点検する超小型水中ロボット。

◆ その他、耐震、断熱、自然エネルギー等の話題性のある新技術が展示されます。

◆ 出展者による新技術プレゼンテーションは、重点テーマを「復旧・復興」「建設段階」「維持管理・予防保全」「防災・安全」と定め、屋内展示場特設ステージで１５分程度の発表の場を設けています。

◆ 新技術プレゼンテーションの４０の発表枠のうち、維持管理・予防保全のテーマが１８と最も多くなっています。復旧・復興及び建設段階のテーマはそれぞれ９。

◆ 発表枠とは別に１２時から３０分間の時間を利用して、**新技術活用（NETIS）への取り組みについて、東北地方整備局から説明**します。

◆ ＥＥ東北’１４の来場者数は、過去最高だった前回開催の１２，０００人を超えるように、チラシ、ポスター、新聞広告、ホームページの活用など広報しています。

◆ 被災地で開催する**EE東北から新技術・新工法に関する情報を発信することで、復興が大きく加速し、東北地方のさらなる発展に寄与**していければと考えています。

○　ＥＥ東北公式サイト

出展者、出展技術、会場内レイアウト等は、ＥＥ東北ホームページにて御覧いただけます。

ホームページアドレス　http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/eetohoku/ee14/

《参考》前回「EE東北’13」の開催状況

※写真は「EE東北’13」

23回目のEE東北が6月5日、6日の2日間にわたって開催。過去最多の出展技術（682技術）となったEE東北’13、各ブースは終始多くの来場者（延べ12,000人）でにぎわい、会場内は熱気に包まれました。





実行委員会構成団体の代表者の方々にも出席いただき、開会式を開催



来賓祝辞
（本省総合政策局公共事業企画調整課山元室長）

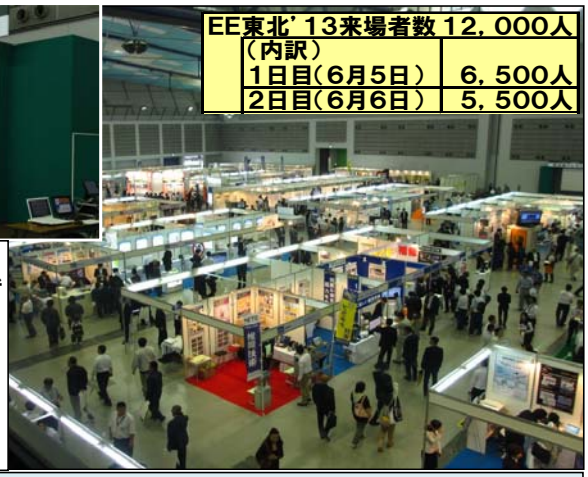


来賓、出展者、地元自治体によるテープカット



新技術をより多くの方に理解していただくため、開発者自らが説明し、多くの聴講者に参加いただきました。

【新技術ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ】
1，800人（2日間）

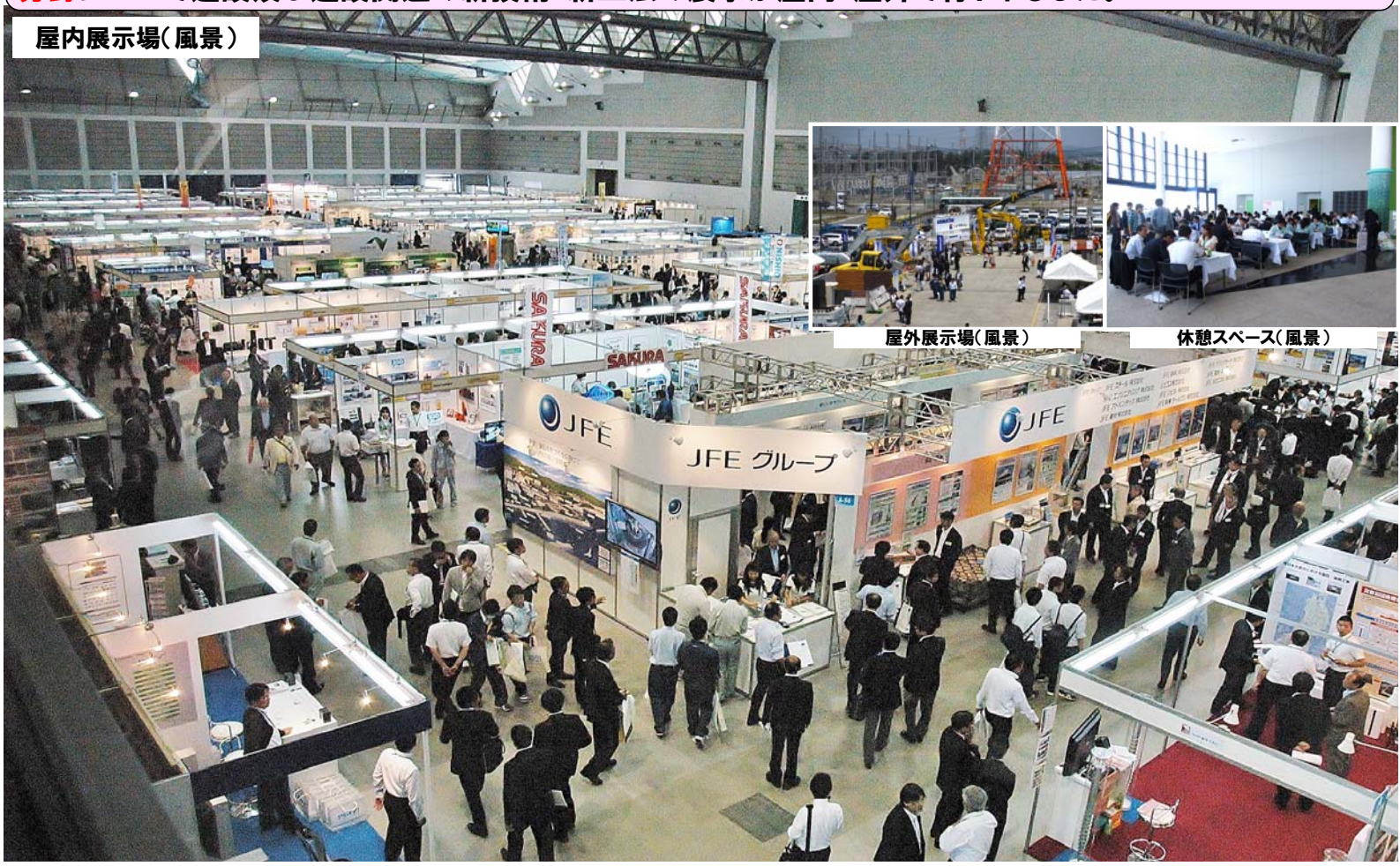


EE東北’13来場者数 12，000人	
（内訳）	
1日目（6月5日）	6，500人
2日目（6月6日）	5，500人

各ブース内に新製品や新技術、デモ機などを展示

『復興へ、今こそ活かそう新技術』をキャッチコピーに『復旧復興』や『維持管理』、『防災安全』など7つの技術分野について建設及び建設関連の新技術・新工法の展示が屋内・屋外で行われました。

屋内展示場（風景）



屋外展示場（風景）

休憩スペース（風景）

ENGINEERING EXHIBITION
TOHOKU'14

活かそう新技術
復興から発展へ

建設技術公開

EE東北'14

継続学習制度（CPDS）認定プログラム
（（一社）全国土木施工管理技士会連合会認定）

入場無料
どなたでもご覧頂けます

無料シャトルバス運行
JR仙石線多賀城駅～会場間を8：10から
20分間隔で運行

新技術展示会
出展社数 298社
出展技術総数 782技術

新技術プレゼンテーション
6月4日（水）
11:00～12:00／12:30～16:15
6月5日（木）
9:45～12:00／12:30～15:30

6/4 Wednesday 10:00▼16:30 — 6/5 Thursday 9:30▼16:00

会場：夢メッセみやぎ 仙台市宮城野区港3-1-7

■主　催
EE東北実行委員会（委員長：東北地方整備局　企画部長）
■構成団体
一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部
一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北コンクリート製品協会
一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、東北建設業協会連合会、一般社団法人東北地域づくり協会
一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部
一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県
秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社

■後　援
公益社団法人土木学会東北支部、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人先端建設技術センター、河北新報社
日刊建設工業新聞社東北支社、株式会社日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社、株式会社建設新聞社、株式会社日本建設新聞社

お問い合わせ先 EE東北実行委員会事務局　〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3丁目6番1号　TEL.022(365)8047　FAX.022(365)5938　E-mail　tougi@thr.mlit.go.jp

EE東北'14

建設事業に係わる新材料・新工法その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることによって技術開発を促進し、良質な社会資本整備を通じて地域社会の発展に寄与することを目的として開催します。

新技術展示会

出展社数	298社
出展技術総数	782技術

※平成26年3月31日現在

1.復旧・復興に関する技術分野	195技術
2.建設段階の技術分野	145技術
3.維持管理・予防保全の技術分野	231技術
4.建設副産物・リサイクル等の技術分野	15技術
5.防災・安全等の技術分野	153技術
6.その他共通の技術分野	43技術

特設コーナー

- 仙台市消防局の展示と地震体験車「ぐらら」の体験コーナー
  ※「ぐらら」の展示は5日のみとなります。
- 大学関係研究室の展示
- 東北地方の高校生が製作した「橋梁模型」作品展示

新技術プレゼンテーション

テーマ

- 復旧復興 9技術
- 建設段階 9技術
- 維持管理 18技術
- 防災安全 4技術

4日	5日
11：00～12：00	9：45～12：00
12：30～16：15	12：30～15：30

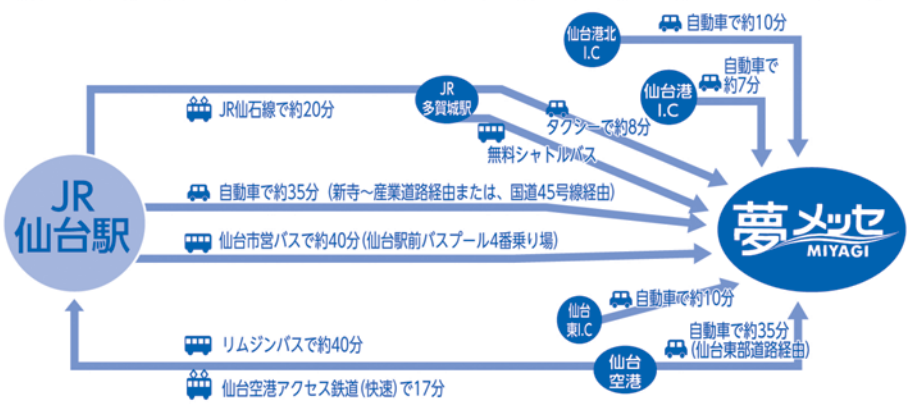
会場までのアクセス方法

[JR仙石線多賀城駅から会場間、無料シャトルバス運行]

JR多賀城駅発8:10～20分間隔で運行

※駐車場に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関、シャトルバスをご利用下さい。

最終　多賀城駅発　6月4日　16:30発　　最終　夢メッセ発　6月4日　17:30発
　　6月5日　15:30発　　6月5日　17:30発



交通の案内

